

今後取り組むべき課題についての意見

【地球観測】

- ・アジア域ならびに国内における生態系を含む地球環境の長期変動観測モニタリングサイトを整備・構造化。

【気候変動予測】

- ・シミュレーションと観測結果の比較検証をし、予測に伴う不確実性の明確化。
- ・リスクコミュニケーションで気候変動インパクトの正確で分かりやすい表示の実施。

【気候変動対応】

- ・気候変動のメカニズム解析と将来予測により得られるデータを活用した実施策（社会実装）への展開。
- ・環境変動に伴う生物（遺伝子から生態系レベル）の応答の解明。生態系のレジームシフトの検出や予測に関する科学。

【資源循環】

- ・バイオテクノロジーによって工業廃液・排水からレアメタルを回収する方法（biomineralization、biosorption等）などは、省エネ技術として着目。
- ・資源性の高い物質、有害性の高い物質を含む製品の管理・回収のための社会システムの構築。

【水環境】

- ・下水の再生処理水に再利用するニーズが高い、水資源が不足する国における排水のリサイクル利用の推進。

【土壌環境】

- ・掘削を伴う工事において発生するヒ素、フッ素、ホウ素、鉛等自然由来の汚染土対策に関して、高コストの汚染土壌対策がかかり、インフラ整備の妨げになっているため合理的な評価・対策方法の確立。